社会福祉法人
宮城福祉会

さくらの里だより

令和５年1月号

さくらの里若柳
短期・通所・居宅・ケア・特養

栗原市若柳字川北塚原15-1
0228-32-7515

新年あけましておめでとうございます。
この言葉を言い合う光景が当たり前となりましたが、どうしてお正月がめでたいのか。日本のお正月は一言でいうと、神様を迎える行事です。年神様は農耕の神様で、五穀豊穣や家内安全などのご利益をもたらしてくれると信じられてきました。
そのことから、神様をお迎えするためのお飾りの準備やご馳走を作って一緒に食べることがおめでたい行事とされていたようです。

今年は３年ぶりに行動制限がないお正月でした。
雪も降らず、出掛けるにはとても良いお正月でしたね。
皆さんはどのようなお正月を過ごされたでしょうか？
さくらの里でも、それぞれの事業所で大掃除から始まり、お餅をつき、みず木や鏡餅の準備をして、おせち料理を食べながら皆さんと一緒にお正月を過ごしました。
今年こそは、コロナウイルスも落ち着いて穏やかな１年になるといいですね。
本年もどうぞよろしくお願い致します。〈チバ〉

ケアハウスの年末

12月23日（金）クリスマス忘年会☆
今年は敬老会での職員による
アトラクションの映像を観ながら「夏は暑く、ワールドカップサッカーで盛り上がってあっと言う間の『ブラボー』な一年だったね」と１年を振り返りました。昼食にはお寿司やカニ入りグラタン等、豪華な行事食を頂きました。テーブルには職員の手作りプレゼントも一緒に並べて、皆さんと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。
12月27日（火）年末の恒例行事である餅つき☆
餅をつく度に「よいしょ！！」と元気な掛け声が聞かれ、皆さんからの力強い掛け声が餅にも込められたようで、とても美味しい粘りのある餅が出来上がり、昼食に頂きました。（オジマ）

俺に任せろ!!

デイサービスの
クリスマス忘年会

綺麗に色づけられたクリスマスツリーやリースのぬり絵。レースペーパーや折り紙でコラージュされた飾り絵。これらたくさんの作品がデイサービスの部屋に飾られています。全て利用者の皆さんの作品です。

そんなクリスマスの雰囲気が満点の中で、クリスマス忘年会が開催されました。皆さんの歌の披露や職員による出し物で盛り上がりました。昭和の懐かしいアイドルに粉した職員の踊りや鳴子を持ってダンスを披露する職員の芸に「すごい！」と驚きながら、皆さんは満面の笑顔で拍手をされていました。また、シルバー人材センターからお手伝いに来られている川島孝子さんも得意のレクダンスを披露されました。川島さんのダンスに「上手だこと～！」と大きな声援が送られ、利用者の皆さんも一緒に踊られていました。

皆さんも職員も大きな声で笑い楽しく過ごしたひと時でした。（イワブチ）

特養の忘年会

♪ジングルベ～ル♪

12月21日（水）にクリスマス忘年会を開催しました。
南ユニットではクリスマスソングをうたい、プレゼントを配りました♪
職員を問題にしてクイズをしたり、職員同士の相撲大会を皆さんに楽しんで頂きました。令和４年最後のイベントを無事に終えることができ、職員一同、充実感に溢れていました。コロナの影響により外出が厳しい状況でした。
まだまだコロナの流行が見られますが…令和５年も一緒に楽しみましょう♪

新年も皆様にとって幸多き１年になりますよう心より願っております。

（ダイサク）

忘年会

ショートステイの忘年会

～それぞれの忘年会～

12月22日（木）ショートステイ恒例のクリスマス・忘年会を開催しました。コロナ感染対策にて今年は各ユニットでの開催となりました。

安心ユニットは職員によるハンドベルで「ジングルベル」と「きよしこの夜」の演奏を行いました。皆さんが手拍子してくれたり口ずさんで頂き、ステキな時間となりました。来年はぜひ皆さんと一緒に演奏したいですね♪

なごみユニットは的当てゲームを行い、フェルトで作ったツリーにボールをくっ付けて綺麗にツリーを完成させました。上手にボールを投げてくっ付けることができていました。肩や手首の良い運動ですね♪

やすらぎユニットは職員によるバルーンアートを行い、2023年の干支のうさぎを作り、皆さんにプレゼントしました。皆さんは笑顔でとっても喜ばれていました。

最後に長靴を履いたサンタさんからプレゼントをもらってクリスマス・忘年会は無事終了☆

2023年はコロナが収束して元の生活が送れるようになりますように…笑顔の絶えない毎日が送れるようになりますように(^^♪　　（ミチコ）

職員紹介

趣味は映画鑑賞

＜名前＞
佐々木麻衣
（ササキ　マイ）

＜部署＞
さくらの里若柳　特養

＜一言＞
入社してもうすぐ１年になりますが、早く慣れるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

若柳中学校「職場インタビュー」

車椅子体験をして頂きました

12月2日（金）若柳中学校において、さくらの里の職員２名が１年生７人から「職場インタビュー」を受けてきました。今年は栗原地域のコロナ陽性者が急増している時期でしたので、職員が学校を訪問して実施されました。「この仕事に就いた動機」「仕事のやりがい」「この施設の好きなところ」「利用者の方が嬉しそうにするのはどのような時か」など直球の鋭い質問が続きました。生徒さんからのインタビューは、私にとって介護の仕事を選んだ原点に立ち返る貴重な時間となりました。

若中１年生の皆さん、こちらこそありがとうございました。

これからも学習や部活動に頑張ってください。（タニタ）

編集後記

今月号はそれぞれの事業所の年末の過ごし方をご紹介させて頂きました。「雪が降らなくていいね～」と話す方もいれば、「お正月らしくない、昔はお正月と言ったら大雪だった」等、色々な会話をしながら、お正月の過ごし方が変わってきたことを口にされていました。

皆さんはお正月にどのような思い出がありますか？
今度、お会いした時にぜひ教えてくださいね♪
今年もさくらの里の様子を定期的にご報告させて頂きたいと思います。楽しみにしててください☆

（アユミ）